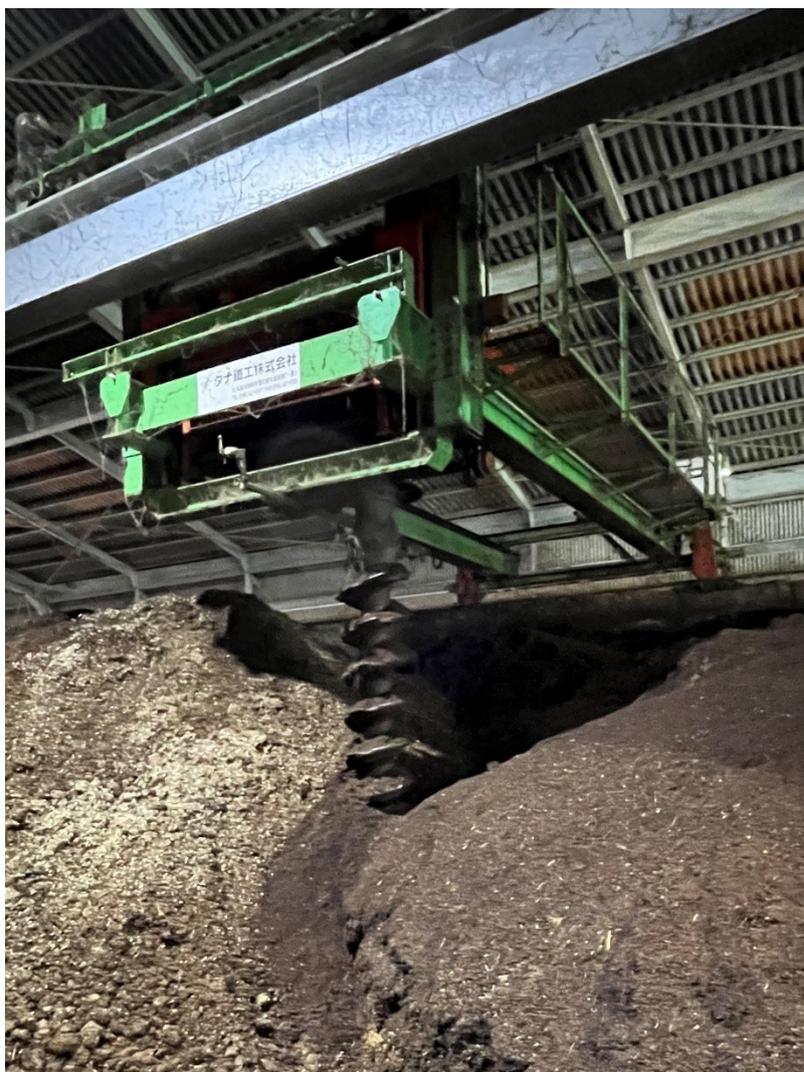


# 畜産環境保全情報

発行・・・・・・・・・・公益社団法人兵庫県畜産協会  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1番地  
兵庫県農業会館  
TEL : 078 (381) 9362



縦型スクリー式攪拌機

朝来市八代 株式会社あさご有機（朝来市土づくりセンター）

## 株式会社あさご有機(朝来市土づくりセンター)の堆肥生産

### 【生産者の概要】

株式会社あさご有機(朝来市土づくりセンター) 代表者 西垣 優

所在地: 朝来市八代 93

設備: 敷地 6,392.3 m<sup>2</sup>、発酵設備棟(延床面積 2,007 m<sup>2</sup>)、

製品置場棟(延床面積 560 m<sup>2</sup>)、管理棟(延床面積 30 m<sup>2</sup>)

機械: 縦型スクリー式攪拌機 1 基、トラックスケール、フレコン袋詰装置、小袋詰機各一式、もみがら積載機、高圧洗浄機各 1 台、クレーン付きトラック、タイヤショベルローダー、マニュアルプレッダー、フォークリフト、原料運搬トラック各 2 台



写真 2: 施設全景

### 【堆肥化処理方法】

密閉式原料運搬トラックで畜産農家(和牛 5 戸、乳牛 1 戸、ブロイラー 1 戸)から原料となる家畜ふんを収集。牛糞(乳牛、和牛混合) 15 : 鶏糞 3 : 副資材 2 (もみがら 7 割以上)の割合(重量比)で混合する。

↓

混合した原料を発酵槽に堆積して、2 日に 1 回、縦型スクリー式攪拌機で切り返す。加えて 1 週間に 1 回、ホイールローダーで切り返し、温度測定や水分、密度の状態を確認しながら、24 日間発酵促進する。

↓

養生槽に堆積し、通気ブローで 24 時間通風して 1 週間に 1 回切り返し、追加の発酵を促進する。温度低下(完熟に近づく)を確認しながら、42 日間かけて発酵を落ち着かせる。

↓

製品置場棟で約 1 週間堆積してから、小袋またはフレコンに詰める。

【製品の特徴】

- ・ 供給方法：①直売
  - ②電話受注による配達、
  - ③拠点販売（JAたじま、農機具店など市内各所）
  - ④市役所からの回覧板による受注販売  
（年2回、農事部長（農会長）を通して注文）
- ・ 堆肥散布：春期及び秋期の需要期に集中して実施
- ・ 供給価格：小袋堆肥「ニューあさご有機」：280円/40ℓ袋・約15kg  
 バラ堆肥：11円/kg      フレコン堆肥：4,100円/400kg袋  
 小袋、フレコンの記載価格は市助成金込みの市内販売価格。
- ・ 令和2年度に「50袋で次回利用時500円引き」の特典付きポイントカードを始めました。登録は1,000人以上、リピーター獲得に役立っています。



写真2：小袋堆肥



写真3：特典付きポイントカード

【堆肥成分分析値（共励会提出分）】

分析機関：十勝農業協同組合連合会農産化学研究所

分析項目	水分 (%)	全窒素 (%)	リン (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )(%)	カルシウム (CaO)(%)	マグネシウム (MgO)(%)
原物中(%)	27.39	2.381	2.945	2.691	1.273
乾物中(%)		3.280	4.056	3.706	1.754

カリウム (K <sub>2</sub> O)(%)	灰分 (%)	全窒素 (%)	C/N 比	pH	EC (ms/cm)
3.598	21.07	27.26	11.44	8.58	11.71
4.955	29.02	37.54			

○講評（兵庫県立農林水産技術総合センター畜産技術センター 生田健太郎所長）  
水分、C/N 比ともに良好で、特に色相、形状、臭気を審査する官能評価で極めて高い評価となりました。製品は品質の良さが好評で、販売力も高く、収益力の良さには驚かされました。また、代表者の西垣さんの堆肥生産に対する熱心さにも感銘を受けました。



写真 4 堆肥共励会表彰式  
(令和 4 年 11 月 17 日)



写真 5 最優秀賞賞状

## 「知事賞をいただいて」 株式会社あさご有機 代表者 西垣 優

平成 25 年度に続いて 2 度目の知事賞をいただき、令和 5 年 2 月 6 日には近畿農政局主催「堆肥シンポジウム」でも発表する機会をいただきました。

弊社の生産する堆肥は、但馬を代表するブランドの「岩津ねぎ」や「朝倉さんしょ」をはじめ、水稻、果樹などで使われています。これまで、お客様からの要望や意見を聞いて、喜んでもらえる堆肥づくりを目指してきました。基本の堆肥さえしっかり作っておけば、いろいろな品目へのアレンジが可能です。



兵庫県ブランド「但馬牛」とブロイラーの糞を原料にして製造した堆肥が、資源循環して、但馬の農産物ブランドに使っていただく。畜産農家のふん尿処理と、耕種農家の土づくりを支える資源循環の拠点であり、但馬の農産物ブランドを土づくりから支えている、という思いを大切に、これからも従業員とともに、お客様に喜んでもらえる堆肥づくりに取り組み続けます。